

●日本図学会 2013 年度春季大会（兵庫）プログラム

5月11日（土）

セッション1：教育（第1会場 15:50-17:30）

座長 椎名久美子先生(大学入試センター)

- 1) 子どもの発達段階における立体表現と美術の流れとの類似点
中村彩華、面出和子（女子美術大学）
- 2) ゲームエンジンがもたらした Web ページ・プログラミング
山島一浩(筑波学院大学)
- 3) 天文分野のカリキュラム変更と児童・生徒の空間認識能力
岡田大爾（広島国際学院大学）
- 4) プログラミングベース CG 教育を志向した Processing 言語による入門プログラミング教育の試み
佐藤尚、長聖、鈴木浩、黒川真毅(神奈川工科大学)
- 5) 三次元CADの利活用に関する実態調査と考察
平野重雄（東京都市大学・㈱アルトナー）、喜瀬晋、関口相三、奥坂一也、大谷直樹（㈱アルトナー）

セッション2：投影・幾何学・認識（第2会場 15:50-17:10）

座長：辻合秀一先生(富山大学)

- 6) 2次元図形から3次元図形への変換
櫻井俊明(いわき明星大学)
- 7) 写真の焦点と被写界深度に着目したイメージの見方
林桃子(名古屋芸術大学)、茂登山清文(名古屋大学)
- 8) カテナリーに関するいくつかの考察（第2報）
長島忍（立教大学）
- 9) 回転視影絵認識テスト（MST）の開発とその評価
高橋彰、阿部浩和(大阪大学)

5月12日（日）

セッション3：モデリング・アニメーション（第1会場 9:00-10:40）

座長 三谷純先生(筑波大学)

- 10) プログラミングの可視化と教育効果について
辻合秀一（富山大学）
- 11) アニメーションにおける動きの種類分析と誇張表現の適応手法

今間俊博（首都大学東京）、齋藤隆文（東京農工大学）、阿部翔悟（東京農工大学）

1 2) 光造形を前提とした製品デザインのための3Dモデリングの課題

本間巖、荒木勉(筑波技術大学)

1 3) 曲線の回転・拡大縮小・平行移動に基づく可展面のデザイン手法に関する研究

鈴木広隆（神戸大学）

1 4) 多面体メッシュの折り目と切れ目を含んだ可展形状近似

高橋都子、舘知宏、山口泰(東京大学)

セッション4：空間・立体（第2会場、9:00-10:40）

座長 福江良純先生(北海道教育大学)

1 5) 産業遺産施設への来訪者のブログ記事による共起ネットワーク図の図的解釈

福井美弥、阿部浩和（大阪大学）

1 6) 交差法による立体視画像から得られる融合像の歪み方について

吉田勝行（大阪大学）

1 7) 幾何曲線を用いた空間配置について

森田克己(札幌大谷大学)

1 8) ウォークスルーシステムによる歩行経路に沿った視野空間変化の3次元分析

安福健祐（大阪大学）

1 9) 3D-CAD を用いた自転車フレームデザイン演習におけるレイアウトスケッチ使用の指導

竹之内和樹、能野謙介（九州大学）

セッション5：美術（第1会場、11:00-12:40）

座長 山島一浩先生(筑波学院大学)

2 0) 受胎告知の空間表現について

朝倉恵美、面出和子（女子美術大学）

2 1) 総合芸術家ル・コルビュジエの建築

加藤道夫（東京大学）

2 2) キュビズムの空間と時間 —アレクサンダー・アーチペンコの彫刻作品について—

福江良純（京都府立洛水高等学校）

2 3) “梯子構造による面”を用いた搭乗型教育遊具の開発

村松俊夫（山梨大学）

2 4) 反透視図法の史的展開

奈尾信英（東京大学）

セッション6：光・視覚・その他（第2会場、11:00-13:00）

座長 舘知宏先生（東京大学）

- 25) フラクタル図形を用いた平行光の拡散に関する研究
春田昌也（大阪市立大学）、鈴木広隆（神戸大学）
- 26) 固有景観に着目した映画の都市発信効果
種田元晴（東洋大学）
- 27) プロジェクション型サイネージにおける画面デザイン
遠藤潤一（広島国際学院大学）
- 28) 斜角錐形天窓採光システムによる室内の光環境の分析
土方宙史（大阪市立大学）、菅正太郎（すがアトリエ）、井川憲男（大阪市立大学）、鈴木
広隆（神戸大学）
- 29) 風景写真におけるヴィジュアルリテラシー
茂登山清文（名古屋大学）
- 30) ポリリズムの演奏・作成のためのインターフェイス
定國伸吾（大同大学）